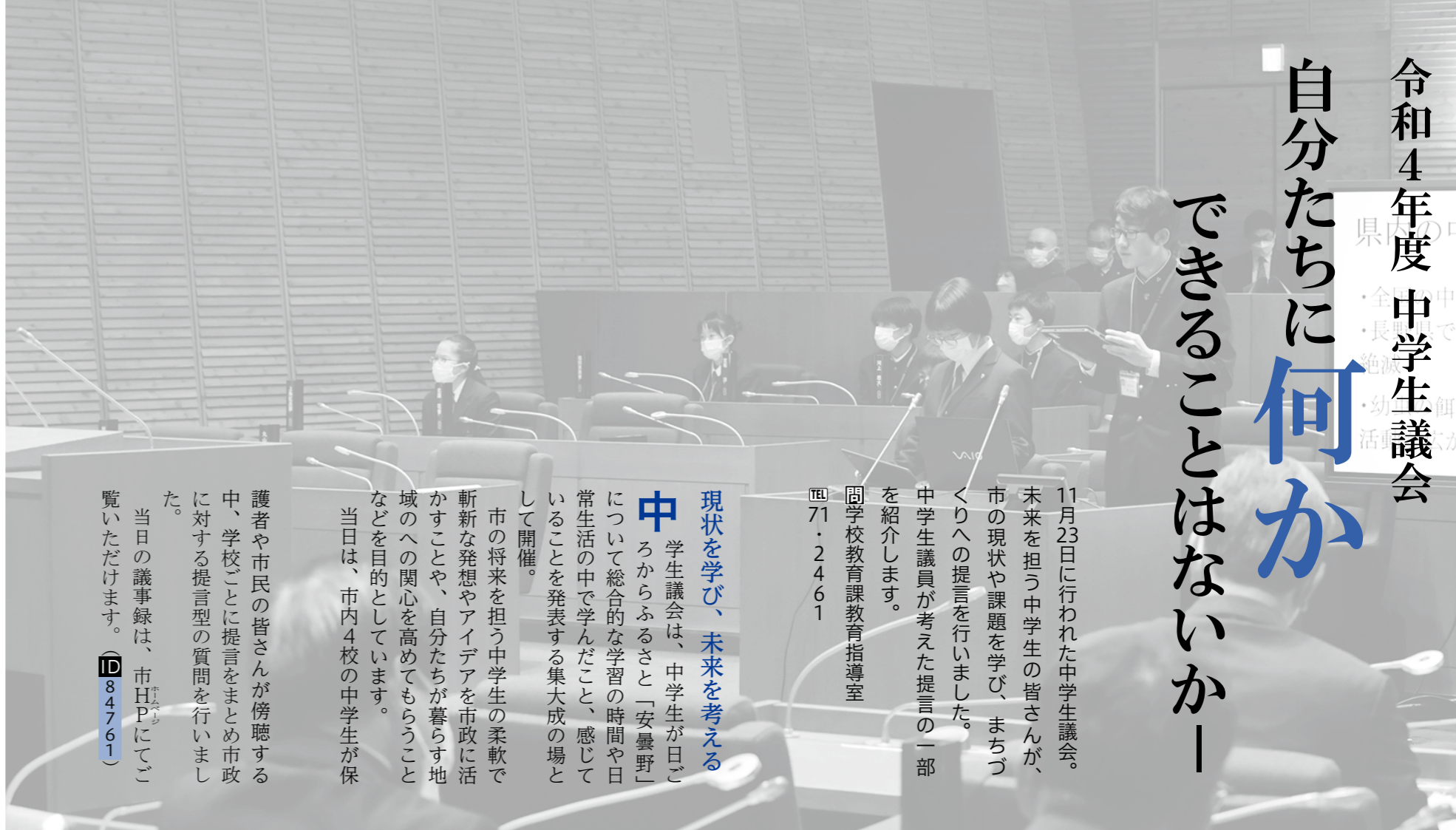


自分たちに何か

できることはないか



11月23日に行われた中学生議会。未来を担う中学生の皆さんが、市の現状や課題を学び、まちづくりへの提言を行いました。中学生議員が考えた提言の一部を紹介します。

中学校教育課教育指導室
☎71・2461

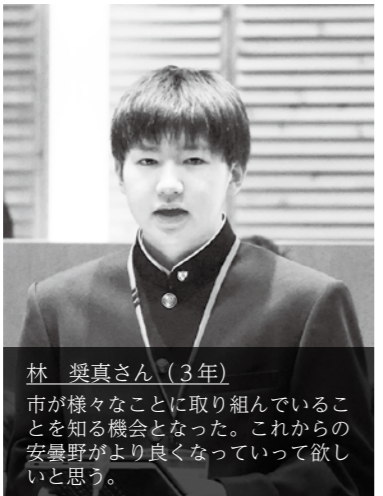
現状を学び、未来を考える

中 学生議会は、中学生が日ごろからふるさと「安曇野」について総合的な学習の時間や日常生活の中で学んだこと、感じていることを発表する集大成の場として開催。
市の将来を担う中学生の柔軟で斬新な発想やアイデアを市政に活かすことや、自分たちが暮らす地域のへの関心を高めてもらうことなどを目的としています。
当日は、市内4校の中学生が保

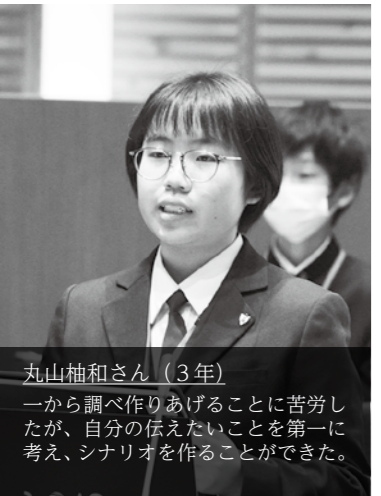
護者や市民の皆さんが傍聴する中、学校ごとに提言をまとめ市政に対する提言型の質問を行いました。
当日の議事録は、市HPにてご覧いただけます。
[ID84761](#)



佳岳さん (3年)
自分たちが伝えたいことをしっかり伝えることが出来た。今後、この経験を生かし、様々なことに取り組みたい。



燮真さん (3年)
市が様々なことに取り組んでいることを知る機会となった。これからの安曇野がより良くなっていったらいいと思う。

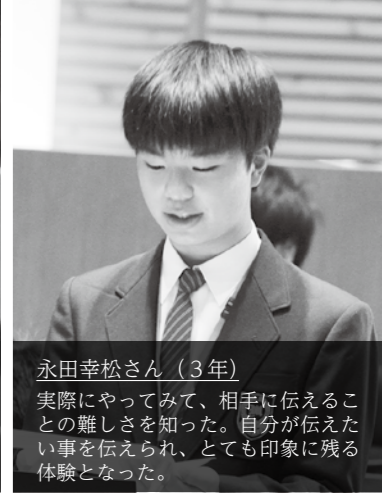


柚和さん (3年)
一から調べ作りあげること苦労したが、自分の伝えたいことを第一に考え、シナリオを作ることができた。

豊科北中 観光客を増やすためのPRや今後の課題について

Q 駅前に飲食店等を集約し食べ歩きスポットを作ったり、安曇野の魅力を集めたりしてはどうか。
また、空き家や空き店舗を利用し、新たな賑わいの場を作ってはどうか。

A 市商工会や調理師会等と協力し、ご当地グルメ「安曇野林檎ナポリタン」や「安曇野やさいスイーツ」のPR、市内飲食店を巡る「安曇野の食の魅力発見スタンプラリー」などに取り組んでいる。
また、商店街では、空き家を活用してシェアキッチンやゲストハウスなども運営されており、皆さんの「食べ歩きスポットを作る」発想は、とても参考になる。皆でアイデアを出し合いながら、駅前や商店街で観光客が楽しむことができる街の賑いにつなげていきたい。



幸松さん (3年)
実際にやってみて、相手に伝えることの難しさを知った。自分が伝えたい事を伝えられ、とても印象に残る体験となった。



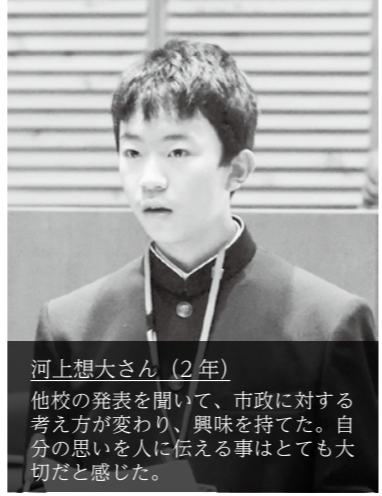
直人さん (3年)
中学生議会だけでなく、日々生活しているときに感じた疑問や要望など、意見交換できる機会が増えてほしいと感じた。



花音さん (3年)
とても良い経験が出来た。安曇野について知り、若い世代が意見を述べることが大切だと感じた。



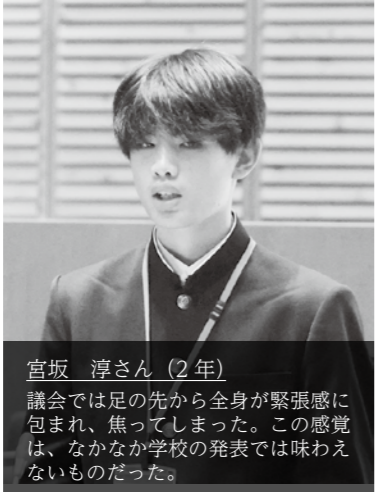
紅呂那さん (3年)
自分の住むまち(市)に意見を述べる良い経験をさせていただいた。今後も市の魅力を追及していきたい。



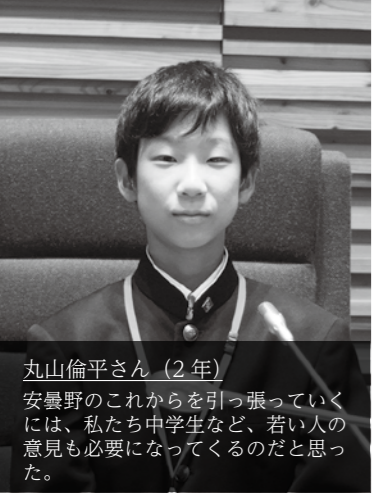
想大さん (2年)
他校の発表を聞いて、市政に対する考え方が変わり、興味を持てた。自分の思いを人に伝える事はとても大切だと感じた。



美香さん (2年)
自分たちで考え提案、他校との交流など普段できない体験が出来た。今回学んだことを今後の学校生活、私生活で活かしていきたい。



淳さん (2年)
議会では足先から全身が緊張感に包まれ、焦ってしまった。この感覚は、なかなか学校の発表では味わえないものだった。



倫平さん (2年)
安曇野のこれから引っ張っていくには、私たち中学生など、若い人の意見も必要になってくるのだと思った。

堀金中学校 将来、安曇野市に住んでいた人が戻ってきたいと思えるような地域にしていくには？

Q 今年開催したキャリアフェスティバル(※)のように企業の方々と対話ができる機会を作ってもらえないか。
また、堀金中学校だけでなく、多くの生徒が参加できるように活動を増やし、やりがいを持てる仕事、働いている人のことを知る事ができるように企業や行政に力を貸してほしいが、市の考えは。

A 小中高の生徒の皆さんに市内の企業や仕事内容などを詳しく知ってもらうことは、とても大切なことだと考えている。
キャリアフェスティバルの取り組みを市内に広げることに、市としては市内企業の皆さんにこの取り組みに参加をお願いしたり、細かな情報提供をしたりすることなど協力したいと考えている。気軽に相談してもらいたい。

※キャリアフェスティバル：
中学生の職場体験をより充実させるため、地域の事業所を学校に招き、企業ごとに設けられたブースを生徒たちが巡り、業務内容や仕事に対する姿勢を学ぶ取り組み。

穂高東中 豊かな人生の礎 幼児期の保育や教育の充実と課題

Q 安曇野の自然を活かした保育や幼児教育について、その計画作成や実施に中学生も加わらせて欲しいがいかがでしょうか。また、ぜひ若者の声を生かせる場が欲しいがどうか。

A 市では、安曇野の豊かな自然を保育に取り入れた「あづみの自然保育」を推進しています。子どもたちが体験し、自ら気づき、興味関心を高め“やってみよう！”という探求心の芽を育てる幼児教育・保育を行っています。
今後、こども園・幼稚園・小学校・中学校の連携を一層高め、相互の交流を活発にしていきたいので、ぜひ、中学生の皆さんの参加を期待しています。

三郷中 外来生物が侵入していることや環境が悪くなっていることへの解決策について

Q 三郷地域以外の市内の外来生物による影響は、どのようなものが挙げられるか。また、現在どのような対策を講じているのか。

A 区やボランティア等の皆さんに協力いただき、アレチウリ等の一斉駆除を年3回実施している。今年度は、初めてウシガエルの駆除を、主に生息が確認されている明科地域で実施した。
対策は、駆除を繰り返し、生息地を拡げないことが大事。
皆さんが学びを深め、課題解消のためにできる活動を継続していただくことを期待する。